



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.47 2025.11.1

ミ ラ イ エ

観音寺の輝く未来へ 市議会の動きをわかりやすくお伝えします

9月定例会のあらまし	 2
一般質問	 5
審議結果	 11
視察報告	 13



人口 55,699 人

(2025.10.1現在 内外国人1,547人)
(対7月比 51人減)



検索

観音寺市議会

写真の紹介

「秋祭り」

香川県立観音寺総合高等学校 2年 齋藤 慶吾 さいとう けいご

10月に豊浜町で行われている「ちょうさ祭り」に行った時に撮ったものです。たくさんのちょうさが並んでいて いいなと思ったのでこの構図で撮りました。夕方に撮ったので、太陽の光が金色に反射して豪華に見えると思います。その豪華さが伝わったらうれしいです。

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



定例会が9月1日から9月22日までの22日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人事案件1件を初日に同意した。一般質問では8日に11人、9日に7人が市政についてたどした。各常任委員会では付託された20議案と請願1件について審査した。最終日には、委員会付託議案を原案のとおり認定・可決・同意し、請願1件を採択した。続けて総務委員会から請願に関連した意見書案1件が提出され、原案のとおり可決した。また、議員から提出された議案1件を原案のとおり可決し、新道の駅調査特別委員会からは調査経過の報告があった。

9月定例会の主な議案

Pick up!

－認定第1号～第9号－

令和6年度観音寺市一般会計および各特別会計歳入歳出、下水道事業会計の決算認定について

一般会計	歳入	336億 7,795万円
	歳出	327億 2,708万円
特別会計	歳入	139億 2,332万円
	歳出	137億 5,864万円

下水道事業会計

収益的収支	収入	13億 3,394万円
	支出	12億 6,187万円
資本的収支	収入	2億 9,755万円
	支出	7億 3,099万円

－議案第49号－

観音寺市附属機関設置条例の一部改正について

- 観音寺市名誉市民選考審議会を附属機関として新たに設置するもの。

－議案第54号－

人権擁護委員の候補者の推薦について

大森 瑞枝 氏

- 現職の任期満了に伴い、後任委員の候補者の推薦に同意した。

－議案第57号－

令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第3号）

道の駅建設事業

48万円

- 指定管理候補者が決定したことに伴い、開業に向けた事前業務として市内関係団体等の調整、出荷・出品検討事業者による先進地視察研修、周知用動画作成等を実施するもの。
- 指定管理候補者開駅準備関連委託：28万円
- 出荷・出品検討事業者先進地視察研修：20万円

三観広域負担金（電算センター）

393万円

- 基幹システムの標準化に伴い、一部の市税通知書について現行の封入封緘機^{ふうかん}では対応できないことが判明したため、当該帳票に対応可能な封入封緘機を新たに導入するもの。

地域活性化事業

150万円

- 国の「地域活性化起業人制度」を活用して三大都市圏等の企業に所属する社員1名を一定期間受け入れるもの。ノウハウや知見を活かし、地域の魅力向上につながる業務に取り組んでいただく。

委託業務内容

- ・市内企業、個店のブランディング支援
- ・電子取引の支援
- ・着地型観光コンテンツの企画、制作支援
- ・市の求めに応じた地域活性化に資する支援業務 等



東京圏UJIターン移住支援事業

160万円

- 本市への移住および定住の促進を図るため、東京圏から本市へ移住する者で補助金交付要件を満たす者に移住支援金を支給するもの。

移住支援金 2人以上の世帯：100万円、単身世帯：60万円

空き家対策事業

1,280万円

- 老朽化して倒壊などの恐れのある空き家の除却を促進し、地域の住環境の向上を図るもの。市内にある老朽危険空き家の除却を行う者に対し、予算の範囲内において費用の一部を補助する。

補助率 4/5（国：2/5、県：1/5、市：1/5）

所有者負担 1/5 補助限度額 1戸あたり160万円

保育所施設設備整備事業

546万円

- 大野原こども園の大型遊具について、遊具点検で安全基準を満たしていないと判定されたため、令和7年3月に撤去した。その代わりとなる新しい複合遊具を設置するもの。

農道維持管理費

644万円

- 市が管理する農道において、センターラインや車道外側線が薄くなり夜間や雨天時に車線を認識しづらくなっている箇所の補修工事などを行うもの。

農地維持管理省力化事業

144万円

- ため池や農道、水路の法面の管理を省力化するための土地改良区によるリモコン式草刈機購入に対して、補助するもの。

補助率 85%（県：50%、市：35%） 地元負担 15%

交通安全施設整備事業

1,400万円

- カーブミラー、転落防護柵、路面標示等の交通安全施設について、老朽化による修繕や自治会要望、通学路点検等による要対応箇所が増加しているため、増額補正するもの。

市道維持補修事業

3,130万円

市道舗装新設事業

3,000万円

- 市内の自治会から老朽化した排水路や道路構造物の整備要望および市道路線における舗装面の老朽化による改修要望が非常に多く提出されており、早急な対応が必要な箇所があることに加えて、工事費が高騰していることから増額補正するもの。

市道改築事業

1,457万円

- 地元要望により幅員の狭い箇所の拡幅整備について、緊急に対応する箇所が多く予算の不足が見込まれるため増額補正するもの。

し尿処理施設設備改修事業

1,148万円

- 設備点検の結果、老朽化により早急に施設整備を行う必要がある箇所が指摘されたため、改修工事費を増額補正するもの。

豊浜総合体育館維持管理費

550万円

- すぽっしゅ豊浜において当初想定していなかった修繕箇所が増加し、修繕費予算に不足が見込まれるため増額補正するもの。

修繕箇所 ① 1階脱衣所系統空調室外機 ②浴槽・露天風呂系統熱交換器（取替）
③ 男性更衣所自動扉 ④プールろ過系統コンプレッサー ⑤男女サウナ木部

のりあいタクシー運行委託事業（債務負担行為）

期間：令和8年度から令和9年度まで 限度額：880万円

- 大野原町五郷地区において令和7年1月6日から令和8年3月31日まで実証実験を行っている五郷地区ののりあいタクシーについて、民間の交通事業者へ令和8年度から2年間委託するもの。（各年度440万円）

のりあいバス運行事業（債務負担行為）

期間：令和8年度から令和10年度まで 限度額：9,000万円

- のりあいバス運行业務の委託について、シルバー人材センターに委託している3路線以外の2路線（内循環線、外循環線）を民間の交通事業者へ令和8年度から3年間委託するもの。（各年度3,000万円）

小・中学校フィルタリングソフト使用料（債務負担行為）

期 間：令和8年度から令和12年度まで

限度額：小学校 2,548万円 中学校 1,271万円

- 児童生徒学習用端末（タブレット）のフィルタリングソフト※1について、県より示された令和8年度から令和12年度までの5年間を対象とした県下での共同調達に要する費用を計上するもの。市内小・中学校ではタブレットが日常的に使用されており、安全に学習を行えるように、継続してフィルタリングソフトを備えておく必要がある。

前号掲載内容の一部訂正について（お詫び）

前号（No.46 令和7年8月発行）の掲載内容について、次のとおり誤りがありましたのでお知らせいたしますとともにお詫び申し上げます。

- | | | | |
|-----|------|--|----------------------------|
| (1) | 掲載箇所 | 6月定例会の主な議案
—議案第45号— 令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）
小学校管理費、中学校管理費 の補正内容（3ページ） | |
| | 内 容 | ×誤 | 新しい地方財政・生活環境創生交付金（デジタル実装型） |
| | | ○正 | 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型） |
| (2) | 掲載箇所 | 個人質問 柳生紘明議員の答弁本文7行目（9ページ） | |
| | 内 容 | ×誤 | 基本計画の想定（約12億円） |
| | | ○正 | 基本計画の想定（約8億円） |

※1 インターネット上の有害サイト等へアクセスさせないように、特定の条件を満たしたWebサイトしか閲覧できないようにするソフトウェア。



議員 茂
自民新国会

高齢者の一人暮らしについて、健全な生活をするためには

答 弁

独居高齢者が住みたい場所で自分らしい生活を続けられるよう努力する

【質問】 高齢者の一人暮らしは増加傾向にあり、さまざまな課題やリスクが伴う。一方で、適切な対策を講じることで、安心して生活を送ることも可能である。

本市には一人暮らしの方がどのぐらいおられるのか。また、健全な生活をするため、どのような手立てをとっているのかを伺う。

【答 弁】 近年の独居高齢者数は、年々増加している状況である。独居高齢者は、社会とのつながりが希薄化し、人とのコミュニケーションを取る機会が減少することで孤立したり、認知症の発症や悪化につながるなどの潜在的なリスクを抱えている。

身近な地域で気の合う仲間と体操を行う「銭形貯筋体操」の出前講座や、健康運動指導士による基本的な運動を中心とした介護予防教室「観トレ」の実施、また、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進して地域でのつながりのある生活を維持することを目的とした「ふれあい・いきいきサロン」の活動助成など、介護予防や認知症予防のための活動も含め、独居高齢者が自分の住みたい場所で自分らしい生活を続けられるようさまざまな取り組みを行っている。



白川 雅仁
公明党

障害者手帳等申請用診断書作成料の助成を

答 弁

調査研究を進める

【質問】 身体障害者手帳、精神障害者手帳、自立支援医療費などの再認定や更新申請では、手続き時に診断書が必要とされており、この診断書作成に係る費用は全額自己負担となっている障がいのある人およびその家族の負担を軽減するためにも、診断書作成料の助成を行っていただきたい。

【答 弁】 身体障害者手帳をお持ちの方で障がいの状態が変化すると予想される方は医師の判断に基づき1年から5年で再認定が必要となる。精神障害者保健福祉手帳や、公費負担医療制度である自立支援医療は2年ごとに更新手続きが必要となる。経済的な負担の軽減や福祉の増進を図る観点から、診断書作成料の助成について調査研究を進めていく。

災害時協力井戸登録制度の導入を

令和8年度の導入に向けて取り組み

【質問】 大規模災害による長期断水に備えるため、個人や事業所が所有する井戸を災害時協力井戸として登録いただき、提供者の善意により自主的に井戸水を生活用水として供給していただく制度の整備を提案する。

【答 弁】 県の災害時等応急用井戸普及促進事業や他市の取り組み状況を踏まえ、本市でも調査検討し、令和8年度導入に向けて取り組む。



大矢 一夫
自民新国会

本市の義務教育の在り方について（タブレットの有効利用と学校給食について）

答 弁

Aードリルは使用拡充の検討を、学校給食は児童生徒へのアンケートを実施する

【質問】 タブレットの有効利用について提案する。授業の視覚化・多様化・共同学習の促進・家庭学習との連携が必要だが、個々の解答パターンを分析して弱点を補強するAードリルによる学習は、基礎学習が必要な小学生にも導入すべきでは。

【答 弁】 現在、中学校4校で5教科のAードリルを活用している。夏休みにもタブレットを持ち帰り、1学期の復習などを行っている。今後、市内小・中学校への拡充について、成果や課題を整理して検討する。

【質問】 学校給食について、8月に試食会が開かれたが、約100人の児童に、味・量・温かさの3つについて質問したところ、「量が少ない」と約3割が解答した。9月中に児童生徒にアンケートを取るべきでは。

【答 弁】 児童・生徒へのアンケートは9月中に実施する方向で、現在質問内容や実施方法などを検討中である。結果は今後の給食の参考にし、より良い給食の提供に努める。





大平直昭
創風会

新「道の駅」の屋内施設とオリジナル商品の検討について

答 弁 運営事業者や市内事業者とともに検討を進めていく

【質問】新「道の駅」の導入機能の中でも重要であると考えられる、屋内施設の規模や内容について、運営事業者からの提案内容などを含め伺う。また、食料品やお菓子、レストランのメニューなどオリジナル商品の開発が重要だと考えるが、取り組みを伺う。

【答弁】地場産センターは、ＪＡ香川県から関心表明をいただいております。これから運営について協議を行う。地産地消マルシェは運営事業者の直営方式による運営で、市内事業者の多種多様な地域産品の出品や地域産品を活用したオリジナル商品の販売を提案されている。売場面積は、あわせて８００㎡と想定している。軽飲食フードコートおよび地産地消レストランは８店舗の予定だが、出店を希望する市内事業者を中心に、店舗の数や面積について検討を進めていく。

オリジナル商品の開発については、施設の知名度向上を図るためのオンラインワン商品の開発、市内事業者との連携による新商品の開発、産学連携※２による企画商品の販売、地元食材を活用した季節ごとのメニューの提供など、運営事業者から提案を受けている。



岸上政憲
自民新国会

市内小・中学校へのＡＩドリル導入を提案するが、市の考えを伺う

答 弁 ＡＩドリル導入に対する成果と課題を踏まえて検討する

【質問】市内全小・中学校の児童生徒の学力底上げを目的としてＡＩドリルの導入を提案するが、市の考えを伺う。

【答弁】現在、市内中学校４校で５教科のＡＩドリルを活用している。市教育委員会としては、市内小・中学校への拡充について児童生徒の思考力への影響といった考慮すべき課題もあることから、その成果と課題を踏まえ、検討していく。総合防災マップの更新・配布をすべきと考えるが、市の考えを伺う

答 弁 令和８年度中に更新を行い、全戸配布する予定

【質問】南海トラフ地震被害想定について、国が３月に１０年ぶりの見直しをした。７月には県も独自データを公表した。その中で本市が進める新「道の駅」の建設予定地は、「震度７」強・液状化危険度が高い」とされるエリアに該当した。被害想定見直しに伴い、総合防災マップの更新・配布をすべきと考えるが、市の考えを伺う。

【答弁】被害想定見直しに伴い、現行の総合防災マップの大幅な更新が必要であると認識している。令和８年度中に更新し、全戸配布する予定としている。



石山秀和
公明党

銭形砂絵「寛永通宝」の世界遺産登録をたただす

答 弁 地域の誇りであり、価値を国内外に広める

【質問】登録に向けた意思を伺う。

【答弁】登録へのハードルは非常に高いが、地域の誇りであり重要な文化財であるため、世界に発信して知ってもらうための効果的手法を探る。

外国人の住民税納付状況をたただす

答 弁 普通徴収者３３名が未納で、未納額合計は６万８８００円

【質問】滞納や未納への対応策は。

【答弁】勤務先調査や預金調査、また転出した者にあつては根気強く追跡調査を行っていく。

市営住宅の共益費問題をたただす

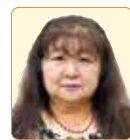
答 弁 システム改修や運用体制の変更が必要であり、早急な対応は困難

【質問】家賃と共益費を合算で引き落とせば負担軽減できるのでは。

【答弁】現状は各自治会が徴収しているが、市が徴収を代行しているケースも見受けられることから、共益費の収支状況や適正な運営がなされているかを把握し、さらなる調査研究を進める。



※２ 新技術の研究開発や新事業の創出などのために、大学等の教育・研究機関と民間企業が連携すること。



篠原 和代
創風会

新「道の駅」建設の 今後の予定について 伺う

答 弁

基本設計の進捗状況に応じて、SNS、ホームページ、報道発表による最新情報の発信を予定している

【質問】市民の皆さまへの説明会について、今後の予定を伺う。

【答弁】市民とイメージを共有するため市民説明会を開催する予定であるが、規模や日程は検討中である。また、市民との情報共有を図る目的で、市民フォーラムの開催を検討している。

【質問】市民の皆さまの意思表示のために、住民投票を実施する予定はあるか。

【答弁】現時点で住民投票の実施は考えていない。住民投票を実施するためには、条例の制定が必要である。条例制定の請求、もしくは提案のためには、住民請求、議員発議、市長発議の3つの方法があり、議会での議決を経て制定となるが、さまざまな論点で有識者を交えた深い議論を要し、制定までに相当の日数を要することになる。

住民投票は、市民の声を政策に反映する手段の一つであると捉えてはいるが、現状は事業の進捗に応じて丁寧に説明することで理解を深めていただきたいと考えている。



土田 祐司
創風会

伊吹島における学校教育 現場でのインターネット 通信状況整備について

答 弁

他の離島で導入実績のある衛星通信サービスを検討する

【質問】学校教育現場でのインターネット環境は、大切なインフラである。教育格差を生まないうよう、今後どのような改善を考えているのか、市の方針を問う。

【答弁】伊吹島には高速ネットワークの光回線が引かれていないため、伊吹小・中学校では無線通信を使用したタブレットを整備し、ホームルータ2台とLTE回線8台、モバイルルータ6台を活用して環境を整えた。しかし、電波速度が不安定で電波が途切れるなどの課題があるため、電子黒板の整備を機に校舎2階へホームルータを増設し、効果を検証する準備を進めている。

また、同校は通信環境の不安定な場所にあるため、他の離島で導入実績のある衛星通信サービスについても検討していく。

線状降水帯・河川氾濫時の対応について

答 弁

平時の災害への備えの観点から避難経路を確認する

【質問】線状降水帯の発生が予測された場合、情報をどのように周知し、速やかに避難行動へ結びつけるのか。情報発信手段や運用を問う。

【答弁】防災行政無線、ホームページ等を通じて速やかに発信している。

出前講座や自主防災会の研修などを通して、啓発活動にも努める。



立石 隆男
創風会

交通インフラの維持 管理については？

答 弁

生活のための唯一の道路区間については、市道および林道ともに早急に側溝清掃等を実施する

【質問】中山間地域の市道や林道の側溝の詰まりは、雨水の氾濫、路肩の崩壊、さらに道路自体の損壊などの危険を招く。これまでは地域活動により解消してきたが、高齢化などで活動が難しくなってきた。通行止めになれば生活に支障をきたすので、どのような対策を考えているのか伺う。

【答弁】市道は、市民の日常生活に直結する大切な道路であることから、市が中心となって維持管理を行っており、草刈りや舗装の補修などにより安全で快適に利用できるよう努めている。林道は、市職員が巡回した際に、閉塞した側溝の土砂などを撤去し維持管理に努めている。なお、一部区間は地域住民や利用者のご協力によって維持されている。

現状では、市道、林道ともに、側溝が落ち葉や土砂に覆われて機能していないと思われる箇所が多数あり、路肩の崩壊や道路の通行止めにつながる恐れがある。このため、生活のための唯一の道路となっている区間については、市道、林道ともに、早急に側溝清掃などを実施する。





篠原 重寿
立志会

市職員が働きやすい
職場づくりへの取り組みは

答 弁

職員間のコミュニケーション
を図り、信頼関係をつくる

〔質問〕 全国の自治体職員数は、平成28年頃まで減少傾向となっていたが、新型コロナウイルスの福祉部門の突発的な事象への対応に支障も出たため、微増に転じている。しかし、公務職場への求職者は減少傾向であるように伺える。①市職員の採用（特に専門職）についての現状と、人材を確保するための策は。②求職者に本市を選択してもらうためには、時間外労働、各種休暇制度の整備などの改善が必要と考えられるが、現状と対策は。

〔答 弁〕 ①本市も全国的傾向と同様に、専門職確保に苦慮している。そこで、土木・保健師などの1次試験は、基礎能力試験のみの実施に変更し、一定の成果につながった。さらに、状況改善に向け、他県でも導入している「通年採用試験」の実施検討を進めている。②時間外労働は、年間360時間を超える職員をなくす目標に対して、令和3年度は25人であったが、令和6年度は9人に減少した。年次有給休暇の年間取得日数は、令和6年は目標12日に対して、平均12.1日と、目標を達成した。加えて、職員互助会のレクリエーション行事などを通じて、全ての職員が働き続けたと思う職場環境づくりに取り組みたい。



金丸 康剛
創風会

大野原こども園の複合
遊具設置について

答 弁

各部署との調整を経て、今定例会に
設置工事費（補正予算）を計上している

〔質問〕 以前設置されていた複合遊具が安全基準を満たさないというやむを得ない理由により撤去されたままになっており、保護者やこども園関係者からは、早期設置を望む声が多くあがっている。

〔答 弁〕 4月から旧豊浜保育所の複合遊具移設を検討していたが、想定よりも高額であり、残りの耐用年数を考慮して断念した。その後、新設での設置のため各部署と調整し、今定例会に設置工事費を補正予算として計上した。議会での承認の後には速やかに工事発注手続きを行う。

ため池の除草作業の支援について

答 弁

県の事業内容拡充により市内
でも導入手続きが進んでいる

〔質問〕 農業従事者の高齢化や草刈りを担う若年層の従事者が減少し、作業を継続することが困難になってきている。以前の答弁にあったラジコン草刈機の導入等の検討について、経過や進捗は。

〔答 弁〕 今年度から県の事業内容拡充にて除草機械の導入も補助の対象となり、市内でも補助金交付決定を受けて導入手続きを進めている。

さらに、県より追加でラジコン草刈機1台分の補助金割当てがあり、本市が上乗せ補助をするために今定例会へ補正予算を計上している。



井下 尊義
創風会

ウォータークーラー
の設置について

答 弁

感染症対策に配慮し、全ての
小・中学校への設置を進める

〔質問〕 大阪・関西万博では、会場内の至る所に給水スポットが設置され、水を無料でマイボトルに補充でき、連日の厳しい暑さの中でも安心・安全な水が提供されていた。

〇ー157や衛生面の課題で小・中学校のウォータークーラーは撤去され、児童生徒の水筒持参が当たり前になった昨今だが、水筒の容量では足りない子も多いのではないだろうか。現在の技術力でさまざまな状況下でも安心・安全な水を提供できるのなら、市内の学校に設置することはできないか。

〔答 弁〕 近年では、夏の気温の上昇に伴う熱中症のリスクや、冬季の乾燥による脱水症などが考えられる。ウォータークーラーの設置により、季節を問わず児童生徒や教職員が適切に水分補給できる環境を整えることが可能となる。

現在には要望のあった学校にのみ設置しているが、今後は持参した水筒に補給するなどの感染症対策に配慮しつつ、全ての小・中学校にウォータークーラーの設置を進める。並行して、幼稚園やこども園、保育所（私立も含む）への設置も協議・検討する。





大久保隆敏
立憲会

二大公約失敗か？

引き続き、設置に向けた協議を継続する

【質問】三豊工業高校跡地に医療系大学を誘致することのことだったが、相手（学校法人）より、早期実現は困難との回答があった。これは失敗ということか？

【答弁】市長就任以来、大麻学園と意見交換をしてきた。しかし、大麻学園は看護系教育機関について中長期的な視点で検討していく予定としており、本市としても、引き続き設置に向けた協議を継続していく。

【質問】観音寺駅の高架化・建て替えにより、南北から自由にアクセスできるようにして、中心市街地の賑わいを創出することだったが、市長は駅を高架にするのではなく橋上駅舎にすると答弁した。公約の内容は嘘であったのか？市民の皆さんに判断を委ねる。



【答弁】「観音寺駅を高架駅舎に」と題して、線路の高架には、数百億の費用がかかるため、線路はそのまま高架駅舎にすると、4年前から「さえぎ明浩公式ホームページ」に掲載している。



三好優子
無所属

難病支援体制の充実について

相談から申請まで切れ目なく行えるよう、相談窓口についての周知に努める

【質問】市に難病専用相談窓口を設置することについて、また、就労支援に関する情報提供の強化について問う。

【答弁】県が相談や申請を担っており、香川県難病相談支援センターおよび西讃保健福祉事務所、県内各保健福祉事務所には、既に相談窓口が設置されている。

就労支援については、ハローワークや民間事業者の支援情報を提供し、市ホームページの掲載内容を充実させるなど、情報提供の強化に努める。

空き家の適切な管理について

法改正の内容を所有者に周知して放置を防ぎ、適切な管理や利活用を促す

【質問】「更地にする」と固定資産税が高くなる」という認識が一定数あるが、令和5年の空家等対策の推進に関する特別措置法の改正について問う。

【答弁】居住用の家屋の敷地の固定資産税が軽減される住宅用地特例制度はあるが、「特定空家※3」として市から勧告を受けた場合は特例の対象から除外される。

令和5年の法改正では「管理不全空家※4」という区分が新設され、これに該当して市から勧告を受けた場合も特例の対象外となる。所有者に周知して自主的な改善を促し、空き家の放置防止につなげていく。



柳生紘明
無所属

『新たな財源』と呼ぶには、少し寂しい気がします（新道の駅）

本市としては自主財源の確保が図られます

【質問】直接的な税収入は、地方交付税の計算対象になるため、実質的に市の収入が増加するのは、25%相当の125万円くらいかと思えます。この毎年125万円前後が、民間の私にとっては、この道の駅計画の『新たな財源』だと思っています。ただ、これを新たな財源と呼ぶには少し寂しい気がします。市としてはどのような考えでしょうか？

【答弁】新「道の駅」の開業により、想定している市税の増収額は年額約500万円となります。市税の増額により、国からの地方交付税が減額され、実際の増収額は約120万円と見込まれますが、本市としては自主財源の確保が図られます。

なお、直接的に増加する市税以外に、間接的ですが、市内事業者からの食材の仕入れや関係する事業者での雇用に伴う、税収増に対しても期待できると考えています。

市税の増加は、交付税に頼らず独自の財源を持つこととなり、市民のニーズに合わせた柔軟な政策を実施できるものと考えています。



※3 放置することにより倒壊など著しく保安上危険となる恐れや、著しく衛生上有害と認められる周囲の生活環境に著しい悪影響を及ぼす空き家。自治体が指定する。

※4 管理が不十分であり、今後もそのままの状態だと特定空家に指定される恐れのある空き家。特定空家と同じく自治体が指定する。



伊丹 準
自民新政会

新「道の駅」で得る利益の額と使途について(子どもたちへの投資を提案する)

答 弁

12年後の元利償還完済後には、子育て支援・教育支援に活用したい

【質問】新「道の駅」について、市民への説明会等も数多く行われてきたが、市民の方々から「本当に建設するのか」と多く聞かれる。75億かけて売上が1割にも満たない予測となっているが、①売上予測はいくらか？ ②利益はいくらか？ ③得た利益を子どもたちへ投資することを提案するが、市の考えは？

【答弁】①新「道の駅」売上予測は、計画試算上年間8億2400万円である。

②収益施設の年間の指定管理者の純利益は、8400万円を計画試算している。交流施設を関係人口・交流人口への「呼び水」として市が実施する施策である。滞在型観光を進め税収増を目指している。市民の方から「観音寺市はこのままでいい」と言われるが、何もしなければ消滅可能性都市となる可能性があるのではおかしい。

③利益に関しては、基本的に過疎対策事業債の元利償還金として割り当てられ、また将来の大規模改修への基金としても一部積み立てる予定である。12年後の元利償還完済後には、大規模改修への基金とともに、子育て支援・教育支援にも活用したいと考える。



藤田 均
無所属(共産)

学校給食費無償化を求める請願が先の定例会で採択された^{※5}が、市長の考えは

答 弁

国が制度化した場合、遅滞なく検討を進められるよう、情報収集を行う

【質問】当請願は賛成16人反対3人と圧倒的に賛成多数で採択された。物価高騰の中、給食費を安くして「新たに第2子以降の無償化等ができないか」など、市民の声が広がっている。市長はどう応えていくのか。



【答弁】学校給食費の無償化実施には安定財源が必要。今後の国の動向を注視し、実施を検討していく。

補聴器の購入を助成する制度はできないか

答 弁

難聴と認知症との関連性やそれに基づいた国の動向を注視する

【質問】厚生労働省は「聞こえ」の重要性をネット上で公開し、補聴器について認知症の予防効果や改善についても発信している。同省がここまで強く発信していることを踏まえ、聞こえにくさの改善に重点を置いた補聴器購入に助成を行うべきではないか。

【答弁】本市には、加齢に伴う難聴者への購入助成制度はなく、現時点で新たに制度を創設する予定はない。今後は、難聴と認知症との関連性やそれに基づいた国の動向を注視する。



合田 隆胤
無所属

新「道の駅」計画を決定事項だと思っている市民が大勢いる

答 弁

周知不足とならないよう努める

【質問】市長は「ちようさが中国の方に喜ばれる」「外国人と本市の子どもたちが遊ぶ姿を想像すると最高」と述べている。この計画は決定事項だと思っている市民は大勢いるが、本市の正式な決定事項か？

【答弁】明確な答弁できず



大野原こども園の大型複合遊具について
答 弁
補正予算可決後、速やかに設置する

【質問】78億円以上の新「道の駅」を計画する一方、子どもたちの遊び場は後回しという状況に納得できないと保護者から声が挙がっているが、謝罪はないか？

【答弁】(謝罪なし) 工事発注手続きは、補正予算の議会承認後、速やかに行う。

新学校給食センターについて

答 弁

改善できればと考えている

【質問】市長肝入りで、市民の強い疑念を押し切って約55億の税金を投じた結果、「センター化した途端、量が少なく満たされない」などの多くの声がある。発注者としての評価は？

【答弁】別の議員の調査では味と温かさはそんなに問題ないが、量については約3割が「少ない」とのこと^{※6}で、改善できればと考えている。



※5 令和7年第3回(6月)定例会にて請願第1号「観音寺市で学校給食の無償化等を求める請願」が一部採択された。①学校給食費の無償化、②地元食材の利用、③一般市民向け試食会の開催という3つの願意のうち、①のみに沿う内容の一部採択であった。

※6 市による児童・生徒へのアンケートは令和7年9月中に実施。答弁時点では未実施。

掲載できなかった個人質問

氏 名	質 問 件 名	氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	●座りすぎのリスクについて ●スポーツ振興計画について ●学童保育について ●有明浜の崩壊寸前の建物について	篠原 重寿	●高齢者にやさしいまちづくりについて ●子どもの視力低下について
白川 雅仁	●地域おこし協力隊制度活用の再開について ●大規模断水時における応急給水について	金丸 康剛	●学校給食の配膳調整について
大矢 一夫	●健康診断について	三好 優子	●地域資源としての琴弾公園・有明浜の整備と協議体制の構築について ●観音寺駅周辺のまちづくりについて
岸上 政憲	●リチウムイオン電池のゴミ回収について ●観音寺旧学校給食センター跡地利用について ●観音寺西公民館跡地利用について ●銭形Kコインを活用したポイント事業について ●地域おこし協力隊の進捗について ●三豊総合病院経営赤字に関する市の補填について	柳生 紘明	●観音寺市高齢者福祉計画等について ●観音寺市役所の人事評価について ●観音寺市の下水道事業の現状とこれからについて
		藤田 均	●国民健康保険の資格確認書交付の適用判断について ●手話施策推進法成立後の取り組みについて
		合田 隆胤	●選挙について

議案の審議結果

令和7年第4回（9月）定例会

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
認定第2号	令和6年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	令和6年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第4号	令和6年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第6号	令和6年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	令和6年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	令和6年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	令和6年度観音寺市下水道事業会計決算認定について	//
議案第48号	観音寺市議会議員及び観音寺市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第49号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	//
議案第50号	観音寺市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	//
議案第51号	観音寺市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//
議案第52号	観音寺市税条例の一部改正について	//
議案第53号	観音寺市中小企業融資条例の全部改正について	//
議案第54号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第55号	字の区域の変更について	原案可決
議案第56号	財産の取得について	同 意
議案第58号	令和7年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第59号	令和7年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第2号）	//
請願第3号	「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	採 択
意見書案第1号	再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書	原案可決
議提議案第2号	観音寺市議会委員会条例の一部改正について	//

●賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議 案 名 等		議 員 名																			議決結果	
		柳生	三好	合田	藤田	白川	石山	篠原	詫間	岸上	伊丹	豊浦	土田	立石	篠原	合田	金丸	大平	井下			
		紘明	優子	隆胤	均	雅仁	秀和	重寿	保隆敏	茂	政憲	一夫	準二	孝幸	祐司	隆男	和代	千佳子	康剛	直昭		尊義
		無			無共	公明党	立志会		自民	新政会			創風会									
認定第1号	令和6年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	欠	○	○	○	認定
認定第5号	令和6年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	欠	○	○	○	//
議案第57号	令和7年度観音寺市一般会計補正予算(第3号)	●	○	●	●	○	○	○	○	●	欠	●	○	-	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決

※会派別五十音順

※会派に所属していない議員…日本共産党、無所属

夏休み親子議場見学会 開催報告

令和7年8月3日(日)に「夏休み親子議場見学会」を開催し、市内在住の小学生18名とその保護者が参加されました。開会に先立ち、小学生一人ひとりに豊浦議長から「1日子ども議員任命書」が授与されました。



1. 学習「市議会ってな～に？」

全員協議会室で、子ども向け市議会ガイド『何がでっきょん！ 観音寺市議会』を見ながら議員による説明を聞き、市議会のしくみや役割を親子で一緒に学習しました。



子ども向け市議会ガイドの内容

- ①市議会ってなに？
- ②市議会議員ってどんな人？
- ③市議会はどんな仕事をしているの？
- ④市議会の活動と流れを見てみよう
- ⑤市議会をもっと知りたい
- ⑥私たちの願いは聞いてもらえるの？
- ⑦例えば公園ができるまで

市議会ホームページ
子ども向け市議会ガイド



2. クイズラリー

市役所5階の各所に全5問のクイズを設置し、クイズに答えながら議会の色んなお部屋を探検しました。議員からヒントをもらったり、自由にお話をして交流を深めました。



3. 議員体験

議場に入って、普段は議員が座っている席に1日子ども議員が座り、傍聴席で保護者が見守る中、実際の会議のように議長の進行で議会の雰囲気を経験しました。

議長による議場についての説明の後、事前にいただいた質問に答えていく質問会へと移る前に、議員が座る席の机にある「表決ボタン」を押してみる体験コーナーがありました。このコーナーでは、用意された2つの仮の議案について、市議会議員による①議案の提案と説明、②反対の意見の発表(反対討論)、③賛成の意見の発表(賛成討論)を聞いて、自分は賛成するのか反対するかを決めて表決ボタンを押し、議決までの流れを疑似的に体験しました。実際の審議した内容と結果を以下にご紹介します。

仮の議案 1つ目

「観音寺市の小学生の夏休み期間の延長について」

- 内容** 小学校の夏休み期間を2ヵ月にするもの
提案理由 これから国際社会で活躍してほしい子どもたちに、早く海外の感覚を学んでほしいから。



反対

休みが長くなると、授業の進み具合を追いつかせるために先生が大変。給食が無いので、家族も大変。

早くから海外に目を向けるのは大切。時間を取って、普段学べないことや体験できないことにたくさん触れて欲しい。



賛成

結果 賛成15人、反対3人
→賛成多数により原案可決

仮の議案 2つ目

「観音寺市の小学生の体調管理対策について」

- 内容** 小学校の体育館にエアコンをつけるもの
提案理由 体育館を使う時、夏はとても暑かったり冬はとても寒かったりして大変だから。



反対

暑いのも寒いのも経験しながら身体が強くなっていくので、できるだけ自然な状態で過ごすほうがいい。

夏の暑さはだんだんひどくなっている。熱中症を防ぎ、みんなが健康的に過ごせるようにするためには、エアコンは必要!



賛成

結果 賛成9人、反対9人 →可否同数
→議長の決するところにより原案否決



ご参加いただき、ありがとうございました!



市議会ホームページにて、夏休み親子議場見学会の開催報告や、子ども向け市議会ガイド『何がでっきょん！ 観音寺市議会』、1日子ども議員からの質問と議員による答弁の一覧を公開しています。

建設経済委員会 視察報告

■山口県宇部市（令和7年5月14日）

◆オープンイノベーション推進事業について

「うべ産業共創イノベーションセンター志」を拠点に、起業に興味を持つ若者や大学等の研究者をはじめ、市内企業が参画するコミュニティを形成している。起業のための情報共有、若者のビジネススキルアップや市内企業とのつながりを創出することにより、若者の地元定着や市内企業によるオープンイノベーションを推進する取り組みである。

また、県のDX推進拠点である「Y-BASE・宇部ランチ」と連動したハンズオン支援※7と補助事業等により、市内企業のDX化を推進している。

■福岡県北九州市（令和7年5月15日）

◆使い捨てプラスチックの使用削減と適正処理に向けた取り組みについて

第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画を策定し、市民・事業者・NPO・行政など地域内の各主体が主体的・協動的に3R※8・適正処理に取り組むことで、脱炭素社会を見据えた"持続可能な都市のモデル"を目指している。

令和3年度からは、プラスチック製容器包装用の指定袋で製品プラスチックも一括回収する実証事業が小倉地区（約1,800世帯）で行われ、令和4年度には市内全7区の各1地域（約7,000世帯）に拡大して行われた。これによりプラスチック資源収集量は年間2,400トン増加し、プラ焼却時のCO₂排出量は6,600トン削減された。こうしたことから、令和5年度より市内全域で事業開始となった。

■広島県尾道市（令和7年5月16日）

◆ブルーカーボンオフセット推進事業について

2020年に「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、2050年までのCO₂排出量実質ゼロを目指している。「尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり」として、干潟や藻場の再生を通じたCO₂吸収源の拡大を目的としたプロジェクトを、浦島漁業協同組合と共同で推進している。吸収されたCO₂は「Jブルークレジット」として認証・発行され、その売上を藻場の保全・再生活動、調査、環境学習などに充てている。長期的には、これらの取り組みを中心に生態系サービスの回復・強化、観光産業との連携による地域の活性化など、さまざまな相乗効果を狙っている。

広聴広報委員会 視察報告

■三重県亀山市（令和7年5月22日）

◆中学生議会について

「もっと好きになれる！亀山市の未来について考える」というテーマのもと、令和6年8月の夏休み期間中に市内3つの中学校の生徒を対象とした中学生議会を初めて開催した。行政や議会の仕組みを学ぶことで生徒の市政への関心と理解を深め、意見の調整や発表を通して社会的活動への参画意識を高めることを目的としている。さらに、生徒の視点からの自由な発想や意見・提言を市政の参考とすることも狙っており、「広聴」に特に力を注ぐ市議会の新たな企画として数年の構想を経て実現した。

議場で開催する本番の会議は実際の定例会を模して「本会議」と位置付け、当日までには学校側と連携して入念に準備がなされている。5月頃には議員が各校に出向いて議会の仕組みや中学生議会の内容を説明し、その後は各校にて本会議での質問を準備してもらい、生徒は数ヶ月にわたり市政や議会・議員に触れて向き合うことができる。

■愛知県半田市（令和7年5月23日）

◆高校生との交流事業について

令和5年度に当時の議長の発案で、初当選議員6名を主軸とした高校生との交流事業がスタートした。市内の高校と事前に打ち合わせを行い、各校の特徴や要望に応じた内容で実施している。令和5年度には1校目と2校目で『そこまで話して委員会』を開催し、「若者が投票しやすい環境づくりについて」や「私たちの考える半田市の未来」というテーマでのグループディスカッションと発表を行い、高校生から日頃の活動報告を受けるなどした。令和6年度には3校目で『HANDA若者議会』を開催し、「将来（10年後）どんなまちに住んでいたいのか」というテーマでギャップ分析※9という手法を用いたグループワークを行った。議員と会話しながら市の未来について考えて議論することで、高校生の参画意識を醸成するとともに、市議会としても若者のリアルな声を市政に届けていくことを改めて確認した。

※7 中小企業・小規模事業者には、豊富な経験と実績を持つ専門家を一定期間派遣して、経営課題解決へのアドバイスをする支援体系。

※8 Reduce（ごみや必要資源の削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再生利用）の総称。

※9 理想の状態と現状とのギャップを解消するために必要な項目を洗い出し、目標に到達するためのプロセスを明確化する手法。

文 教 民 生 委 員 会 視 察 報 告

■鳥取県米子市（令和7年5月12日）

◆学校図書館支援について

市内小・中・養護学校および児童文化センター図書館のデータベース化を図り、学校間は市の公用車によるメール便を活用して相互貸借を可能にしている。学校の規模に関わらず同量の図書にアクセスできるため、少子化や建物老朽化などによる学校再編が進む時代の流れに即した取り組みと言える。他にも、学習等で同じ書籍が大量に必要となる場合などに各校からスムーズに収集できることや、学校間で連携した選書や蔵書構成の検討により図書の充実を図れることなどの利点も有している。また、市立図書館と各学校の司書教諭との連携も本市においても参考になる事例であった。



▲米子市立図書館の移動図書館「つつじ号」

■鳥取県八頭町（令和7年5月13日）

◆隼Lab.について



閉校した旧隼小学校をリノベーションして平成29年12月にオープンしたコミュニティ複合施設「隼Lab.」は、遊休施設を有効に活用して関係人口の拡大につなげ新たな地域の拠点となった。1階にはカフェやショップ、県看護協会、地域福祉組織が入居し、2・3階はシェアオフィスやコワーキングスペースを構えている。官民が連携して持続可能な運営を実現し、住民も一体となって老若男女一人ひとりの暮らしを豊かにする施設となっている。



▲隼Lab. (旧 隼小学校)

隼Lab.のある八頭町は、公共交通機関こそ乏しいが鳥取市まで車で約30分程度の立地であり、豊かな自然にも囲まれていることから移住・定住に適した地域と言えるため、ここに着目したアプローチも今後の地域戦略の一つと成り得るだろう。公共施設の合理化により今後多く生まれるであろう遊休施設を地域の活性化につなげていく、非常に参考となる事例である。

■兵庫県姫路市（令和7年5月14日）

◆ひきこもり家族学習会について

「ひきこもり」とは、外出の頻度が低く就労や地域活動など家族以外との交流が無い状態が一定期間続いている状態を指す。姫路市では、「相談支援」として重層的支援体制の構築や悩み事・困り事相談の総合窓口「福祉つながる窓口」の開設、「居場所支援」として自由に過ごせる居場所「ぶちたぶち」の整備、「家族支援」として当事者との適切な対応方法を家族が学ぶ機会を提供する「ひきこもり家族学習会」の開催など、多様な事業を展開している。

中でも「ひきこもり家族学習会」で紹介しているCRAFT※10の技法を用いたコミュニケーションについては、視察の中で詳しいレクチャーを受けた。この手法は簡潔に言うと、①家族自身の負担を軽減すること、②家族関係を改善すること、③本人の相談機関の利用を促進することの3点を目的とし、治療を受けやすい環境をつくることで自ら状況の改善に向かうことを促すものである。本人にとって最も身近な存在である家族の在り方がひきこもり状態からの進展に重要な役割を果たすことから、ひきこもりに直面して困惑しがちな家族をケアし、対処法を学ぶ機会を提供することは非常に有効である。本市においても、当事者のみに留まらず家族の方々への支援を充実させ、ひきこもり状態からの脱出を目指す仕組みを確立する上で重要である。

※10 Community Reinforcement and Family Training（コミュニティ強化と家族訓練）の略。

■香川県高松市（令和7年4月21日）

◆香川県のひきこもり支援について

香川県精神保健福祉センターでは、年々増加するひきこもりに関する相談に対し、より専門的に対応するために「ひきこもり地域支援センター Andante(アンダンテ)」を開設している。「アンダンテ」とは音楽において演奏速度を指示する言葉で「歩くような速さで」という意味である。ひきこもりの当事者・家族・支援者が歩くような速さで焦らず確かな足取りで歩みを進めていくことができるようにという願いが込められている。

県はアンダンテを核として、当事者支援、家族支援、支援者団体との連携体制を構築しており、さらなる支援の充実には前向きであるが、県内各市町における取り組みへの姿勢にはまだまだ温度差を感じているとのことであった。ひきこもりに対する誤った認識や偏見を払拭して市民の皆さまが正しい理解を得られるよう、関係者以外に対しても市民講座などで啓発していく必要性があると感じられた。本市でも事業を最大限活用し、さらなる支援の充実を図るべきである。

■香川県観音寺市（令和7年5月15日）

◆ひきこもり支援の現状について

本市にある支援センターウィズでは、発達障がい者のコミュニティスペースを開所し、利用者が社会との交流（創作活動、レクリエーション活動、海浜清掃）、機能訓練（料理、掃除）、内職等の就労支援の練習を行える場を提供している。県の委託事業として、令和2年より「生きづらさを抱える方、ひきこもり状態にある方」に交流・社会参加・体験が可能な居場所を開放しており、本人や家族が気軽にアクセスできる場となっている。本市においても、関係機関と連携を深め、国や県の事業を把握して積極的に取り入れ、取り組みへの温度感を高めていくことが重要である。

お知らせ 政策提言書を提出しました！

令和7年の文教民生委員会は「本市のひきこもり支援に関する取り組み状況及び評価」というテーマのもと、令和7年2月より所管事務調査を行ってきました。閉会中も数回にわたり委員会を開催して協議を重ね、視察研修としては4月には香川県精神保健福祉センターが開設した「ひきこもり支援センター Andante」、5月には兵庫県姫路市のひきこもり支援事業と本市にある支援センターウィズの調査研究を行い、本市の実情の把握と課題抽出に熱意を持って取り組みました。

そして、調査報告書と政策提言書「ひきこもり支援の充実に向けた提言」を作成し、市議会として6月26日に佐伯市長へ提出しました。この中には、市の関係部局を対象に継続的に研修を開催することや相談支援体制の早期確立、居場所支援の充実や家族会の設置を求めるなど、全9項目の提言が盛り込まれています。

市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください！



市議会ホームページ「令和7年 政策提言」 ↑



文教民生委員会が行った「所管事務調査」について

常任委員会が各委員会の受け持つ事務について自主的に行う調査のこと。地方自治法第109条第2項には、「常任委員会は、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。」と規定されています。

令和6年には、総務委員会が地域おこし協力隊について同様に所管事務調査を行い、市議会として市長に提言書を提出しています。（令和7年2月発行 議会だより44号 および 市議会ホームページの「政策提言」カテゴリに掲載）

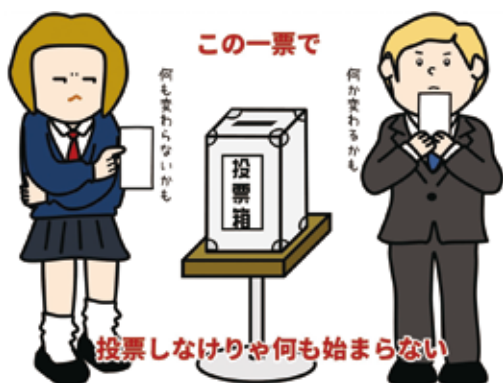




選挙に行こう

観音寺市長選挙および観音寺市議会議員選挙は

令和7年11月16日(日)が投票日です!



4年に1度の、まちの大切な選挙。
投票であなたの「意見」を聞かせてください!

観音寺市長選挙および観音寺市議会議員選挙

告示日 11月 9日(日)

投票日 11月16日(日) ※即日開票



市議会ホームページ
「令和7年度夏休み親子議場見学会開催報告」↓



9月の定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について18名の議員が登壇し、52項目にわたり質問しました。
今任期中では最後の一般質問ということもあり、ほとんどの議員が施策の確認や提案を市当局に問いました。
広聴広報委員会では、8月3日に「夏休み親子議場見学会」を開催し、18名の子ども議員の質問に答えさせていただきました。是非左下のQRコードより、市議会ホームページ掲載の開催報告をご覧くださいと思います。
これからも議会を身近に感じていただけるような企画に挑戦していきたいと考えております。
今後とも市民の皆さまのご理解とご協力のほど、よろしく願います。

広聴広報委員長 岸上 政憲

編集後記

12月定例会の予定

19日	15日	12日	11日	9・10日	2日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議

広聴広報委員会

委員長	岸上 政憲
副委員長	篠原 重寿
大平 直昭	
白川 雅仁	
合田 千佳子	
土田 祐司	
柳生 紘明	

\\ 1年間ありがとうございました! //

